

2024.8.5  
施設認定取得

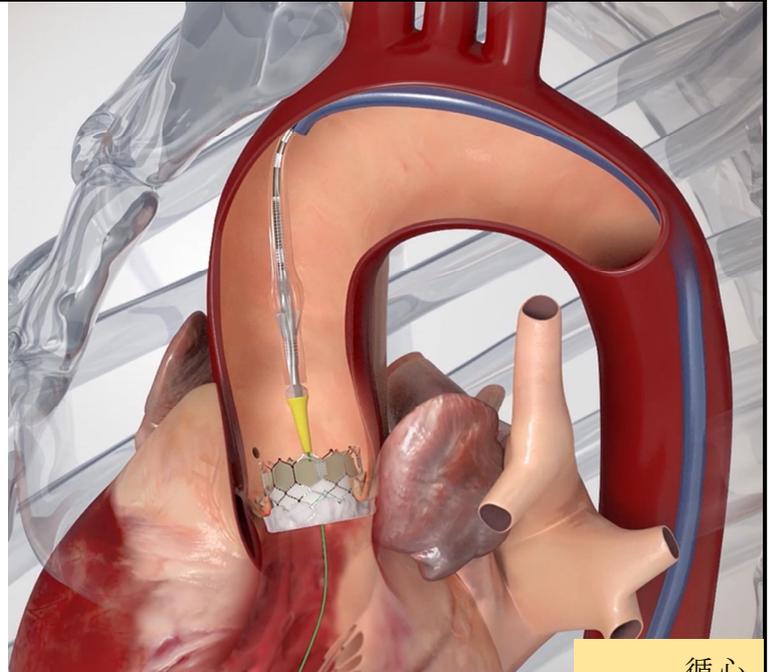
# 経カテーテル大動脈弁置換術

# TAVI を開始いたしました

## さらに広がる大動脈弁疾患の治療

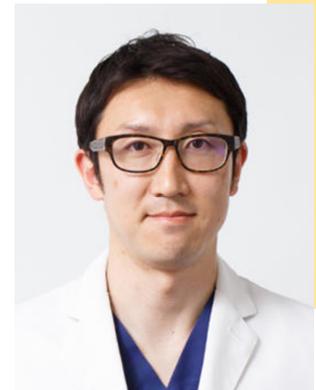
この度、当院心臓血管センターはTAVI 実施施設となりましたので、報告させていただきます。

TAVI は重度の大動脈弁狭窄症の患者さんに対して経カテーテル的に低侵襲で人工弁を留置する手術方法です(大動脈弁閉鎖不全症は適応になりません)。2013年に日本で保険償還されて10年が経過し、その良好な治療成績が報告されています。デバイスシステムの小径化により、最も治療成績の良い鼠径部からのアプローチが90%以上の患者さんで可能となりました。またTAVI 弁の改良や技術の進歩により弁周囲逆流や永久的ペースメーカー植え込み率が減少しました。さらに、当初危惧されていたTAVI 弁の耐久性に関しても、外科的生体弁に遜色のない成績が報告されてきております。



提供: エドワーズライフサイエンス合同会社

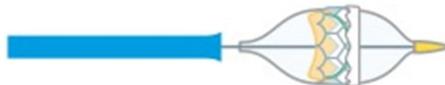
経カテーテル大動脈弁置換術「TAVI」は、当院YouTube からご覧いただけます。



心臓血管センター  
循環器内科 医長  
加畑 充  
か は た み つ ち ゅう



折りたたまれた生体弁を装着したバルーン(ふうせん)とカテーテル



バルーンを膨らませたときの  
カテーテルと生体弁



TAVIで使用される生体弁

## 自宅から近くて通いやすい、フォローアップも万全な荻窪病院へ

我々含め、地域の先生方におかれましては、これまではTAVI 適応患者さんをやや遠方の都心部などへ紹介しておられたかと思えます。しかし今後はご自宅から近くて通院しやすい当院で、負担の少ない形で治療が可能となります。当然ですが治療後のフォローアップもそのまま当院で継続いたします。また、様々な理由でTAVI に不適合の場合がありますが、当院では大動脈弁再建術 (AVNeo) の選択肢もございます。これまで同様、患者さんにとってのベストの治療法をチームで相談して決定して参ります。

我々心臓血管センターの最大の強みはそのアクセスの容易さ、受診へのハードルの低さであると自負しておりますが、治療の質もハイボリュームセンターと同等を維持する気概でございます。これからも地域の患者さんのご紹介をお待ちしております。

荻窪病院  
地域連携ニュース  
8月

# TAVI の登場により外科手術の治療戦略にも変化が 最適な治療を選択し、ニーズにお応えします



浅野 竜太  
あさの りょうた  
心臓血管外科センター  
心臓血管外科医長

2013年のTAVI登場により、本邦における大動脈弁狭窄症にたいする治療が大きく変化しました。全国のTAVI症例数は年々増加して2020年に外科手術数を上回っています。2021年の大動脈弁置換術は8206例でTAVIは12,202例でした(※1)。

TAVIの最大のメリットは低侵襲性です。以前であればハイリスクで外科手術が受けられなかった方や手術を躊躇していた方がTAVIにより元気な生活を取り戻せることは非常に素晴らしいことです。

一方でTAVIでは解剖学的に対応が難しい条件の方もいらっしゃいます。また、TAVI弁の耐久性を考慮した適応年齢も設けられています。そのような方には外科手術が最適な治療となりますが、TAVIの登場により外科手術の治療戦略にも変化が見られています。生体弁の増加(2000年代30%→2021年88%)がその一つです(※1)。これは生体弁置換後の機能不全にたいしてTAVIを行うことができるようになったことが一因と考えられます。すべての症例で適応になるわけではありませんが将来の再手術を低侵襲で行うことができるのであれば、耐久性と引き換えに生涯抗凝固療法を要する機械弁を回避することも選択枝の1つになります。

自己心膜を利用した大動脈弁再建術は  
当院 YouTube からご覧いただけます。



## 手術法を使い分け、 総合的に治療できることが当院の強みです

これからはTAVIと外科手術の両方の長所をふまえて大動脈弁疾患を抱える方、一人一人に合わせて長期的な視点をもって最適な治療を選択することが大切になります。

当院は大動脈弁疾患にたいして自己心膜を用いた大動脈弁再建術(尾崎手術)を積極的に行っています。尾崎法は2011年に報告された比較的新しい術式ですが、生体弁と比較してステント構造(骨格)を持たないため、術後の大動脈弁口面積が大きく血行動態の優位性があります。生体弁では3か月間継続が推奨される術後の抗凝固療法も必要ありません。近年、生体弁と比較して遜色ない長期成績も報告されております(※2)。

当院で2010年12月から2022年12月までの期間で大動脈弁狭窄症に対して施行した129例の尾崎手術の長期成績は再手術回避率5年94%、10年90%と良好な結果です。

通常的人工弁置換術、尾崎法、そしてTAVI、それぞれの利点を考慮して総合的に治療できることは当院の強みといえます。地域の皆様のニーズにお応えできるようこれからも診療を行ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。

※1. Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2021: Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery.

Gen Thorac Cardiovasc Surg. ISSN: 1863-6713, 2024 Apr; Vol. 72 (4), pp. 254-291; Publisher: Springer Japan; PMID: 38421591

※2. Aortic Valve Reconstruction With Autologous Pericardium Versus a Bioprosthesis: The Ozaki Procedure in Perspective.

J Am Heart Assoc. 2023;11:e027391. DOI: 10.1161/JAHA.122.027391